



陽光

(ひかり)

令和7年3月25日(火)
札幌市立光陽中学校
学校便り 第12号
発行者：荒木 信幸

学校教育目標 未来を築く生徒の豊かな人間性の育成をめざして

①高い知性を育てる ②豊かな心情を育てる ③健康な身体を育てる ④ねばり強い実践力を育てる

希望に満ちた新年度に向けて 校長 荒木 信幸

卒業式から10日が過ぎ、今日で令和6年度の学校生活が最終日となりました。今年の卒業式は全校生徒が参加してお祝いすることができましたが、どんな印象が残りましたか。当日は涙を流しながら退場する卒業生がたくさんいましたが、在校生の皆さんの立派な参加態度や心のこもった合唱が感動の卒業式に大いに貢献したことは言うまでもありません。もっと言えば、心を込めた装飾の一つ一つがきっと3年生の心に届いたのだと思います。この場を借りて感謝したいと思います。ありがとうございました。

さて、明日から始まる春休みをどのように過ごしますか。心や体のリフレッシュはもちろん大切ですが、宿題が少ない春休みは、自分が苦手な教科にじっくりと取り組む絶好の機会です。

例えば、みなさんは苦手な教科を克服するためにどんな目標を立てますか。私はよく生徒に「小さな目標を立てて小さな成功を繰り返しましょう」と話します。英語であれば単語を10個練習し、時間を決めて自分でテストします。そこで満点を取ることができれば小さな成功です。小さな成功が続くと、だんだん自信がついてきます。やがて単語から熟語、熟語から基本文へとレベルを上げていきます。苦手意識が強いのに、突然難しい長文の読解や自由英作文に取り組むのはお勧めしません。大切なのは時間がある春休みを利用して、途中で止めずに小さな努力を続けることです。努力できること自体がやがてその人にとって大きな自信になります。

皆さんはこの4月からは新2年生、新3年生に進級します。心身ともに一回り大きく成長して、新しい後輩を温かく迎えてあげましょう。光陽中の伝統をつなぎ、思いやりや、感謝する心を大切にしながら大活躍することを期待して、修了式の話といたします。

(修了式の話より)

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

● お世話になりました（離任の挨拶）

相澤 聖子 教頭先生

二年間という短い期間でしたが、光陽中学校でたくさんの方々との出会いがあり、多くのことを学びました。保護者の方々や地域の方々を支えていただきながら、充実した毎日を過ごせたこと、心から感謝しています。これからも光陽中学校の生徒の皆さんの活躍を応援しています。二年間、お世話になりました。ありがとうございました。

技術科) 松浦 丈夫 先生

9年間という長い期間にわたり、光陽中学校の皆さんには大変お世話になりました。9年前の春に初めて光陽中を訪れた際に、生徒たちが歓迎してくれたのを覚えています。そんな温かな雰囲気こそ、光陽中の伝統でもあると思っています。これからも光陽中生の活躍を楽しみにしています。保護者の皆さまにも様々なご協力いただき、感謝しております。お世話になりました。

音楽科) 山田 葉子 先生

7年間大変お世話になりました。光陽中学校の生徒は元気で明るく、楽しい7年間を過ごすことができました。途中コロナで学校生活が大変だった時もみなさんの力で何とか乗り越えることができました。光陽の歌声を今後も伝統として、つなげていってください。保護者の方々にもいろいろな形で支えていただきました。感謝申し上げます。お元気で。さようなら。

特別支援) 相川 裕也 先生

5年前、光陽中学校に赴任させていただきました。元気いっぱいな挨拶。明るく人懐っこい生徒でとても好印象でした。学級や部活動では、多くのことで笑わせてもらいました。どれも私にとって忘れることのできないものです。赴任先でも、光陽中学校での経験を生かしてがんばります。また、どこかでお会いできることを楽しみにしています。本当にありがとうございました。

● 転送電話のお知らせ

春季休業中の平日 16 時 45 分より翌朝 8 時 15 分までの時間帯と土日祝日は転送電話となっておりますのでご承知おきください。